

# 私が見てきた“被災地”福島VI

## ～私たちは福島第1原発事故から何を学んだのか～

### 大阪市教育会館 1階市民ギャラリーで3月4日から

2011年3月11日に発生した東日本大震災はマグニチュード9.0という日本では、観測史上最大の地震でした。「一般財団法人 大阪市教育会館」は発生後すぐに教育復興支援ということで、サクラクレパスのご協力により、文房具を岩手教育会館に運び、岩手教育会館から被災した子どもたちに届けていただきました。それ以降、復興支援ということで、3月11日を忘れないために、バザーや震災写真展を開催してきました。

今年も、昨年に引きつづき、大阪市の中学校の教員で、被災地福島の支援に取り組んでいるボランティアグループ



浪江町から見た汚染水が放出的海

「あいむひあ大阪」でも活動されている、木村英生さんの写真展を開催します。木村さんはおもに、福島県の南相馬市を中心に、福島第1原子力発電所によって被災した地域での支援活動の中で、被災地の姿を伝えるため、事故後の被災地の写真をずっと撮り続けられています。

木村さんは、「避難指示の解除や復興事業が強調される中で、今も避難するなどの事故後の生活を送られている被災者の姿がまったく伝えず、原発事故が過去のことにされようとしていることをその

ままにはできない。原発事故は福島県の人だけの問題ではなく、全国のどこで起きてもおかしくないことで、自分たちの問題として考えてほしい。2度と同じ過ちを繰り返さないために、『電気が必要だから原発は仕方ない』ではなく、本気でこの事故からしっかり学ばなければならない」という強い思いを持っておられます。

カーボンニュートラルの実現が提案されている中で、化石燃料の価格高騰もあり、原子力発電の復権が具体的な政策としてすすめられようとしています。ぜひとも多くの市民のみなさんに「事故後13年を迎える被災地」の写真を通して、原発事故の現実を見ていただくとともに、木村さんの思いに触れ、被災地の現状をしっかりとらえ、この写真展を通して、震災・原発事故後の社会を考えるきっかけにしていきたいと考えています。



双葉駅前東側に残された倒壊家屋

写真展は3月4日から3月31日まで、大阪市教育会館1階の市民ギャラリーで開催します。また、記念講演会も3月23日（土）に開催します。多くのおみなさまのご来場をお待ちしています。

会場 大阪市教育会館 1階 市民ギャラリー

大阪市中央区法円坂 1-1-35

TEL 06-6943-5021

展示期間 2024年3月4日（月）～3月31日（日）

開設時間 開館中はいつでもご覧いただけます。  
（開館時間：午前9時30分～）



※現在、建設工事のため、駐車場と駐輪場の一時利用を停止しております。ご不便をおかけして申し訳ございませんが、お越しの際は徒歩、または公共の交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

#### 木村英生震災写真展記念講演

「原発事故から13年 避難指示が解除された街から見てくると  
～自分の命を自分で守るために必要なことをかんがえる～」

木村英生震災写真展の記念講演会として、3月23日（土）午後2時から大阪市教育会館3階3号室にて今回の写真の解説を中心とした木村さんの講演会を予定しています。講演会にも多数の参加をお願いします。参加費は無料です。